

これからの医療とまちづくり ～地域コミュニティの役割～ シンポジウムのご報告

これからの
医療と
まちづくり
シンポジウム

—地域コミュニティの役割—

日時：平成28年10月15日（土）

場所：本多の森ホール（金沢市）

主催：（一社）MOA インターナショナル

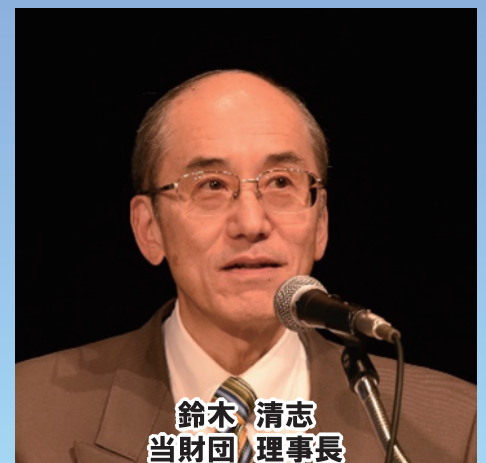
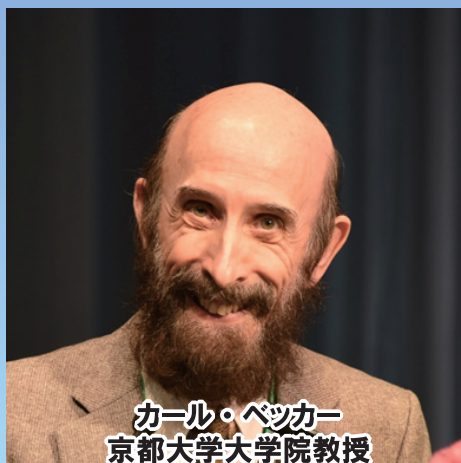
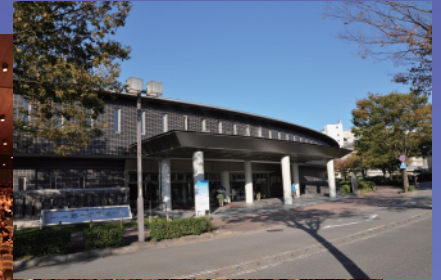
（一財）MOA 健康科学センター

後援：厚生労働省・消費者庁・文部科学省・農林水産省
経済産業省・国土交通省・環境省・総務省・石川県
金沢市・北國新聞社

平成28年10月15日に本多の森ホール（金沢市）において、「これからの医療とまちづくりシンポジウム～地域コミュニティの役割～」を開催しました。多くの医療関係者、有識者、行政関係者を含む1,919名の方々が参加されました。また、このシンポジウムの状況は全国36か所にライブ映像が配信され、2,150名の方々がご覧になり、盛大に行われました。

疾病構造の変化と医療費の高騰、生きる意味の見つけづらさ、加速する少子高齢化など、現代はまさに困難と痛みのただなかにあります。そうした現実の諸課題を踏まえ、求められる医療と健康的なライフスタイル、それを支える地域づくりのために、地方行政、統合医療、倫理・死生観の各領域の専門家による講演をいただきました。

登壇された先生方の写真を載せます。



第8回岡田式健康法研究会のご報告

日時：平成28年10月16日（日）場所：ホテル日航金沢（金沢市）

主催：（一財）MOA健康科学センター、（一社）MOAインターナショナル、新田記念統合医学研究所

平成28年10月16日にホテル日航金沢（金沢市）において、第8回岡田式健康法研究会を開催しました。医師37名、医療関係者96名を含む、国会議員および行政関係者、有識者351名が参加しました。

特別セッションでは、統合医療学会に関連する看護の4名の先生方がご講演されました。研究発表では、日頃から岡田式健康法を研究している6名の医師および医療関係者が報告されました。



第8回岡田式健康法研究会の会場の様子

特別セッション

1. 求められる発想の転換—人々の暮らしに目を向けた看護を
川嶋 みどり（日本赤十字看護大学 名誉教授）
2. 統合医療看護の探求—こころ・体・霊性を調え癒すケアの実践・教育・研究からの学び
猪俣 千代子（札幌市立大学看護学部）
3. 健康長寿社会のための看護師・保健師の役割～看護教育における“触れる”ケアの取り組みから～
緒方 昭子（森ノ宮医療大学健康保健学部看護学科）
4. 統合医療モデル施設（療院）における「看護覚え書」の活用
有馬 佐和子（医療法人財団玉川会エムオーエー新高輪クリニック）

研究発表

1. 肩部の皮膚伝導性と筋硬度へのおかあ式浄化療法の効果—第2報—
片村 宏（医療法人財団玉川会エムオーエー新高輪クリニック）
2. 自治体と取り組む統合ケアの実践
佐久間 哲也（医療法人財団玉川会エムオーエー奥熱海クリニック）
3. 高尿酸症患者に対する岡田式健康法の効果
森岡 尚夫（医療法人財団玉川会金沢クリニック）
4. 統合医療「MOAモデル」の検討
蛸名 玄太（医療法人財団瑞泉会瑞泉会宮城クリニック）
5. 限界集落において統合医療チームによる共助が有効であった2症例
柴 雅彦（MOAかがわ健康増進センター）
6. 患者のスピリチュアリティに寄り添う看護～患者満足度評価への試み～
江副 健一（医療法人財団光輪会光輪会鹿児島クリニック）



川嶋 みどり

日本赤十字看護大学 名誉教授



猪俣千代子

札幌市立大学 教授



緒方 昭子

森ノ宮医療大学 准教授



有馬 佐和子

医療法人財団玉川会エムオーエー新高輪クリニック 看護師



討論会の状況